「篠ノ井線の旅路」

作者　篠ノ井乗務区:shinojoumu

Ver 1.0 無断転載禁止

公開サイトは当ホームページに限定します

https://sites.google.com/view/train-jp12?usp=sharing

x: https://x.com/Shino_Rail

信州の自然と歴史を感じながら、長野県の篠ノ井駅から塩尻駅までを結ぶ篠ノ井線。この全長６６．７トルの路線は、山々と田園の間を縫うように走り、沿線には絶景スポットや古い町並みが点在しています。篠ノ井線の旅は、他の路線では味わえない、豊かな風景や地域の魅力が満ちた旅です。

旅の出発点は、篠ノ井駅。長野市南部に位置するこの駅は、長野新幹線や信越本線と接続しており、地域の交通の拠点です。篠ノ井駅を発車した列車は、長野盆地の田園風景の中を走り抜け、列車に乗っていると早々に広がる美しい山々が、旅の始まりを優しく祝福してくれているようです。車窓からは季節ごとに異なる表情を見せる田畑や集落が続き、自然の移り変わりを肌で感じられます。

篠ノ井線でまず目にしてほしいのが「姨捨（おばすて）駅」です。この駅は、日本三大車窓のひとつに数えられるほどの絶景ポイント。急勾配の丘陵地帯に位置する姨捨駅からは、眼下に広がる千曲川と、遠くにそびえる北アルプスの山々が一望できます。夕暮れ時には川面や山々がオレンジ色に染まり、幻想的な光景が広がります。特に秋の紅葉シーズンや、冬の雪が積もった風景は格別で、訪れるたびに異なる姿を見せてくれます。また、姨捨の棚田と呼ばれる段々畑も絶景ポイントのひとつで、昔ながらの日本の田園風景が今も変わらず残っています。。

終点の一駅手前である「松本駅」も、見逃せない立ち寄りスポット。松本市は城下町として栄え、国宝・松本城を

はじめ歴史的な建物が多く、街全体に風情があります。特に松本城は、日本で最古の五重六階の天守閣を持つ現存天守で、その黒塗りの外観から「烏城（からすじょう）」とも呼ばれています。駅周辺には美術館やレトロな街並みが残る「中町通り」などもあり、散策しながら歴史と文化をじっくり楽しむことができます。

そして、篠ノ井線の旅路の終点は塩尻駅。松本市を抜けて進むと、塩尻市の風景が広がります。塩尻は中山道と甲州街道の分岐点として栄えた宿場町で、駅周辺には歴史的な建物や旧街道の名残を楽しめるスポットが多くあります。特に、奈良井宿や本山宿など、昔ながらの宿場町が点在しており、塩尻市を訪れると、まるで江戸時代にタイムスリップしたような感覚に包まれます。また、塩尻はワインの名産地としても知られており、周囲にはワイナリーがいくつもあり、試飲やワイン作りを体験できるツアーも人気です。

篠ノ井線の列車は、長野県の豊かな自然と歴史をのんびりとつなぐ、時間がゆっくりと流れる特別な旅路を提供してくれます。山や田園、川といった風景が途切れることなく続く車窓の風景に、思わず見入ってしまうことでしょう。また、沿線の各駅に立ち寄るたびに、その地域ごとの歴史や文化、グルメに触れられるのも魅力のひとつです。

篠ノ井線の旅路

著作・発行者:篠ノ井乗務区

定価:非売品 無断転載を禁止しています

出版年月　*2024/11/02*

2027/3/31